



2021年4月26日
株式会社横浜スタジアム
JFE エンジニアリング株式会社
アーバンエナジー株式会社
J&T 環境株式会社

国内のプロ野球場初 「創電割®」導入 ～横浜スタジアムの廃棄物を発電に利用～

株式会社横浜スタジアム（所在地：神奈川県横浜市、代表取締役社長：藤井謙宗）は、JFE エンジニアリング株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大下 元）が 100%出資する新電力のアーバンエナジー株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：原岡 恵子）の電力メニュー「創電割®」^{※1}を活用した循環型エコシステムへの取り組みを、2021年3月1日に開始しました。

今回アーバンエナジーが提案したスキームは、横浜スタジアムで排出された廃棄物を、地元のリサイクル企業である武松商事株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：金森 和哉）が収集・運搬し、JFE エンジニアリンググループの J&T 環境株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：露口 哲男）が運営する産業廃棄物処理施設で焼却・発電するものです。発電した電力はアーバンエナジーが買い取り、横浜スタジアムへ供給いたします。国内のプロ野球場から排出された廃棄物を燃料として発電された電力を循環活用する取り組みは、国内初となります。^{※2}

アーバンエナジーは、横浜スタジアムへ 2017 年より電力供給を行っていましたが、今回の創電割®の提案が SDG s の達成に資するものとして高く評価され、新たに採用されました。

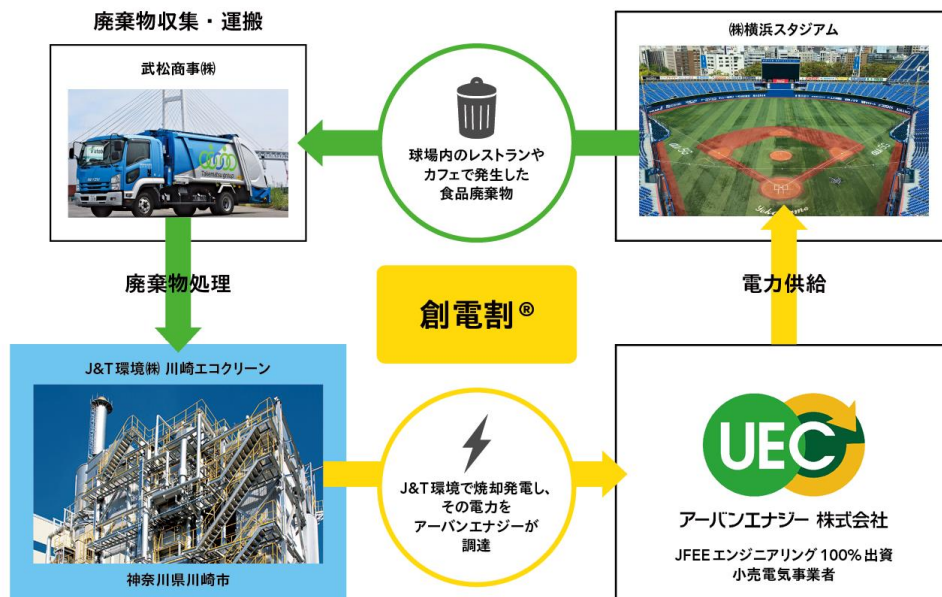
株式会社横浜スタジアム、JFE エンジニアリンググループは、環境に配慮したサービスの拡充を図り推進することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 「創電割®」アーバンエナジーが廃棄物から発電した電力を買い取り、廃棄物の発生元施設へ供給する場合に、廃棄物量に応じて電力料金を割引くサービス。同サービスは 2017 年から開始しており、新電力の中でも独自のサービス。

※2 2021年4月現在、アーバンエナジー調べ

■「創電割®」のスキーム

(株)横浜スタジアム創電割®取り組みイメージ



■株式会社横浜スタジアム 概要

球 場：横浜市中区横浜公園

事務所：横浜市中区尾上町 1-8 関内新井ビル 7F

資本金：3 4 億 8 千万円

公式 WEB サイト：<https://www.yokohama-stadium.co.jp/>

■ JFE エンジニアリング株式会社 概要

所在地：横浜本社 横浜市鶴見区末広町二丁目 1 番地

資本金：1 0 0 億円

事業内容：総合エンジニアリング事業

株主：JFE ホールディングス株式会社 1 0 0 %

■アーバンエナジー株式会社概要

所在地：本社 横浜市鶴見区末広町二丁目 1 番地

資本金：5 千万円

事業内容：電力売買事業（小売電気事業者 登録番号 A0122）

株主：JFE エンジニアリング株式会社 1 0 0 %

■J&T 環境株式会社 概要

所在地：横浜本社 横浜市鶴見区弁天町 3 番地 1

資本金：6 億 5 千万円

事業内容：総合資源化リサイクル事業、総合物流事業

株主：JFE エンジニアリング株式会社 6 4 %、株式会社 JERA 3 6 %

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

株式会社横浜スタジアム 代表 Tel045-661-1251

J F E エンジニアリング株式会社 総務部広報室 Tel045-505-8953